

チェコ出身、気鋭のマエストロとオーケストラによる
ボヘミアの哀愁と情熱を、地元・名古屋出身のチェリストと共に！



第47回 名古屋国際音楽祭



ペトル・ポペルカ 指揮 プラハ放送交響楽団

©Khalil Baalbaki

©Seiichi Saito



© Michal Fanta

Program

ドヴォルザーク／チェロ協奏曲 口短調 Op.104

ドヴォルザーク／交響曲 第9番 ホ短調 Op.95「新世界より」

7/14日 15:00開演 (14:15開場)

愛知県芸術劇場コンサートホール

S席 15,000円 A席 12,000円 B席 9,000円
C席 7,000円 D席 5,000円 U25席 3,000円

※U25はアイチケット(電話)のみの取扱いです。25歳以下で来場時に年齢確認いたします。(おひとり様1公演につき1枚限り)
※車椅子のお客様はご購入前にアイチケットまで必ずお問合わせください。
※入場料金には消費税が含まれます。
※やむを得ない事情でプログラム内容、出演者が変更になる場合がございますのでご了承ください。
※未就学児のご入場はご同伴の場合でもお断り致します。

お問合せ

CBCテレビ 事業部

TEL (052) 241-8118 10:00~18:00
(土・日・祝日休み)

主催/CBCテレビ 後援/愛知県・中日新聞社・CBCラジオ

チケットのお求めは 一般発売11月22日(水)

- アイチケット 0570-00-5310
<https://clanago.com/i-ticket>
- チケットぴあ <https://t.pia.jp> + [Pコード 252-960](https://t.pia.jp)
- ローソンチケット <https://l-tike.com> + [Lコード 40140](https://l-tike.com)
- e+(イープラス) <https://eplus.jp>
- 芸文プレイガイド 052-972-0430
- 名鉄ホールチケットセンター 052-561-7755
- 栄プレチケ92 052-953-0777
- CBCチケットセンター <https://www.funity.jp/cbc-ticket/>

最新情報は、CBCテレビのホームページで

ご確認ください。  [CBC 名古屋国際音楽祭](https://www.cbc-tv.co.jp) 検索



CBCテレビ

Conductor ペトル・ポペルカ

Petr Popelka

1986年チェコ・プラハ生まれ。プラハとドイツのフライブルク音楽院でコントラバスを学んだ後、2010年にドレスデン・シュターツカペレ(ザクセン州立歌劇場管弦楽団)に入団、副首席奏者として活動した。オーケストラは2019年で退団、その後、パーヴォ・ヤルヴィ、ヤーブ・ファン・ズヴェーデンらに師事して指揮者に転身した。2016年から指揮をはじめ、2017年ネーメ・ヤルヴィ賞を受賞。2020年8月ノルウェー放送管弦楽団の首席指揮者・芸術監督に就任し、若手指揮者としての地位を確立。母国チェコ・フィル、NDRエルブフィル、フランクフルト放送響、などを指揮。2022/2023シーズンからプラハ放送交響楽団の首席指揮者・芸術監督。また、2021/2022シーズンからチェコのオストラヴァを本拠地とするヤナー・チェク・フィルハーモニー管弦楽団の首席客演指揮者も務めている。2024/2025シーズンからは、ウィーン交響楽団の首席指揮者に就任することが決まっている。



Cellist 佐藤 晴真 Haruma Sato

現在、その将来が最も期待される新進気鋭のチェロ奏者。2019年、長い伝統と権威を誇るミュンヘン国際音楽コンクール チェロ部門において日本人として初めて優勝して、一躍国際的に注目を集めた。18年には、ルトスワフスキ国際チェロ・コンクールにおいて第1位および特別賞を受賞している。ほかにも泉の森ジュニア チェロ・コンクール金賞、全日本学生音楽コンクール第1位および日本放送協会賞、日本音楽コンクール第1位および徳永賞・黒柳賞、ドメニコ・ガブリエリ・チェロコンクール第1位、アリオン桐朋音楽賞など、多数の受賞歴を誇る。すでに、国内外のオーケストラと共演を重ねており、室内楽公演などにも出演して好評を博している。テレビ、ラジオ番組にもたびたび出演。18年、ワルシャワにて「ショパンと彼のヨーロッパ国際音楽祭」に出演。19年には、本格デビューとなるリサイタル公演を成功裡に終える。20年11月には、名門ドイツ・グラモフォンよりデビューアルバムとなる『The Senses〜ブラームス作品集〜』をリリースし、第13回CDショップ大賞2021クラシック賞を受賞。21年11月には、セカンド・アルバム『SOUVENIR〜ドビュッシー&フランク作品集』をリリース。今春、待望の3rdアルバム『歌の翼に〜メンデルスゾーン作品集』が同じくドイツ・グラモフォンよりリリースされ、発売当初より話題を集めている。これまでに、林良一、山崎伸子、中木健二の各氏に師事。現在は、ベルリン芸術大学にてイェンス＝ペーター・マインツ氏に師事している。15年東京都北区民文化奨励賞受賞。15年ヤマハ音楽振興財団奨学生。16年度東京芸術大学宗次特待奨学生。18年ロームミュージックファンデーション奨学生。20年、音楽芸術文化の発展に貢献し、将来一層の活躍が期待される若手チェリストに贈られる、第18回齋藤秀雄メモリアル基金賞、第30回出光音楽賞を受賞。21年度文化庁長官表彰。22年、第32回日本製鉄音楽賞を受賞。江副記念リクルート財団第52回奨学生。使用楽器は宗次コレクションより貸与されたE.ロッカ1903年。ベルリン在住。

Orchestra プラハ放送交響楽団

The Prague Radio Symphony Orchestra

1926年、チェコスロバキア国営放送所属オーケストラとして発足した。以後、自国の作曲家の曲をはじめ、次第にレパートリーを広げていった。1930年代にプラハで開催された国際現代音楽祭においてヘルマン・シェルヘン指揮で参加し一躍国際的に注目を集めた。1934年にカレル・アンチェルが常任指揮者に就任するが、1935年、ナチスの進攻により、その地を去る。1947年にアンチェルが指揮者として復帰、1950年にはアロイス・クリマが指揮者を務める。1972年にはヤロスラフ・クロムボホルツが、1979年にはフランティシェク・ワイナールが常任指揮者に就任。そのほか、シャルル・ミュンシュ、ロジェストヴェンスキーなどの名指揮者がその指揮台に立ち、オネゲル、ハチャトゥリアン、ペンデレツキなどが自作を指揮している。1985年にウラディミール・ヴァーレクが首席指揮者に就任、現在ではペトル・ポペルカが首席指揮者に就任している。これまでに、ドイツ、イタリア、オーストリア、クロアチア、スイス、フランス、ギリシャ、イギリス、韓国、日本などに招かれ、1998年には初のアメリカ・ツアーを行った。そして全ての国外ツアーは聴衆が楽しめるような曲目となっている。プラハ放送交響楽団は、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団、プラハ交響楽団とともに、チェコの三大オーケストラの一つとして高い評価を受けている。



第47回 名古屋国際音楽祭 2024年4月6日(土)~7月14日(日)

会場: 愛知県芸術劇場コンサートホール

4/6(土) 名古屋国際音楽祭
オープニング・ガラ・コンサート
(15:00 開演)

6/8(土) チョ・ソンジン
ピアノ・リサイタル
(15:00 開演)

5/15(水) プラシド・ドミンゴ
プレミアム・リサイタル
(18:45 開演)

7/5(金) 小林研一郎 指揮 (ピアノ: 亀井聖矢)
ハンガリー・ブダペスト交響楽団
(18:45 開演)

5/30(日) 山田和樹 指揮 (ピアノ: 藤田 真央)
モンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団
(18:45 開演)

7/14(日) ペトル・ポペルカ 指揮
プラハ放送交響楽団 (チェロ: 佐藤晴真)
(15:00 開演)

※やむを得ない事情により、出演者、曲目等が変更になる場合がございます。公演中止を除き、お買い求めいただきましたチケットの、キャンセル・変更等はできません。
※いかなる場合もチケットの再発行はできません。紛失等には十分ご注意ください。※開演後の入場については、入場制限をさせていただきます。